

# 岡山県ストーマ保有者災害対策の会による ストーマ保有者支援ネットワークの拡充を目指した活動

寺石 文則 ●岡山大学病院 消化管外科 講師



## 要旨

我々は、岡山県でストーマ保有者への災害時支援ネットワークを構築するための活動を行っており、「岡山県ストーマ保有者災害対策の会」を設立後、岡山県内のストーマ保有者の現状を把握し、県内の医療機関や公的機関と連携しながら、災害時にストーマ保有者に対してスムーズに支援が行えるように活動してきた。

今回、より多くのストーマ保有者ならびに地域医療関係者に対し災害時のストーマ保有者支援に関する啓発活動を行った。まず、ストーマ装具の備蓄に関するパンフレット、岡山県災害時ストーマ保有者お助けマップやストーマ保有者用の非常用携帯カードなどを作成し、各施設より配布した。

また、岡山県ストーマ保有者災害対策の会で現状と課題について議論を進めるとともに、災害時の訓練も行った。さらに、これまでの活動内容をストーマリハビリテーション関連学会で報告した。今後、ストーマ保有者のみならず岡山県民にプロジェクトの趣旨を広め、ストーマ保有者への支援ネットワークが拡充することを期待している。

## 1. 背景と目的

2011年3月、東日本大震災時にストーマ保有者への対応が混乱したことがきっかけとなり、災害時におけるストーマ保有者への装具提供のためのネットワークづくりの重要性が認識された。我々は、2014年5月「岡山県ストーマ保有者災害対策の会」を設立後、岡山県内のストーマ保有者の現状を把握し（岡山県内のストーマ保有者は約4,000人）、ストーマ保有者への災害時支援ネットワークを構築するための活動を行ってきた。2016年7月の西日本豪雨災害時には、本会が構築した災害時支援ネットワークが機能し、ストーマ装具に関する情報を収集・一元化し、ストーマ保有者への装具の供給がスムーズに行えた。本活動の目的は地域医療関係者およびストーマ装具取り扱い業者との連携を推進し、災害時にストーマ保有者の排泄管理を支援することである。

## 2. 活動の内容

「岡山県ストーマ保有者災害対策の会」は、皮膚・排泄ケア認定看護師、ストーマリハビリテーションに関わる医療従事者ならびにストーマ用品取り扱い業者で構成されており、以下の活動を中心に行っている。

- ストーマ保有者の災害対策計画の策定
- 災害時救済マップの作成
- 災害対策に関する広報
- 行政機関およびその他の関係諸機関との連絡・連携
- 学会・研究会での本会の活動報告

## 3. 現状の成果・考察

- ①啓発ポスターやマップなどの作成

啓発活動を目的とした以下のようなパンフレットやカードを作成し、各施設より配布した。

- ストーマ保有者に対し災害時に必要なストーマ装具の備蓄に関する啓蒙用のパンフレット
- 災害時にストーマに従事する医療関係者がひと目でわかるようなお助けバッジの作成と案内
- ストーマ保有者のための災害お助けキットの案内
- 岡山県災害時ストーマ保有者お助けマップ
- ストーマ保有者用の防水仕様の非常用携帯カード

## ②岡山県ストーマ保有者災害対策の会の開催ならびに災害時訓練

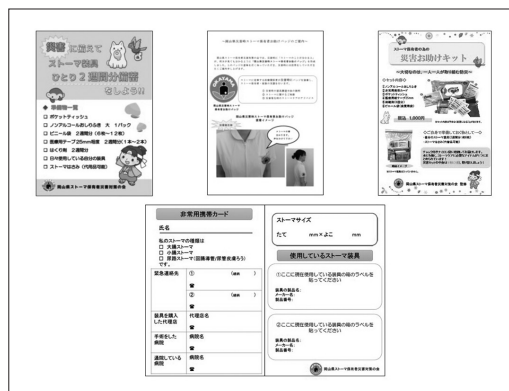
2019年11月16日と2020年2月29日に会を開催し、現状と今後の活動内容について話し合った。

- 災害用スキンケアセットの作成について
- 災害時お助けマップ、備蓄ポスター、災害時携帯カードの確認について
- 各種ポスターの配布計画について
- 中国・四国ストーマリハビリテーション研究会および九州ストーマリハビリテーション研究会での活動報告について
- 災害時の専用掲示板の使用について

また、岡山県ストーマリハビリテーション研究会ホームページ上の本会会員限定掲示板を用いて2019年7月6日、2020年3月11日に災害時の実践訓練を行った。

## ③ストーマ関連学会での活動内容の報告

これまでの活動内容を、岡山ストーマリハビリテーション研究会(2019年5月19日)、中四国ストーマリハビリテーション研究会(2019年6月22日)、九州ストーマリハビリテーション研究会(2019年9月28日)で報告した。学会との連携、島しょ部や僻地への装具の提供状況、病院内の



啓発活動を目的としたパンフレットやカード

災害対策チームとの連携、活動資金などの質問や意見が寄せられた。

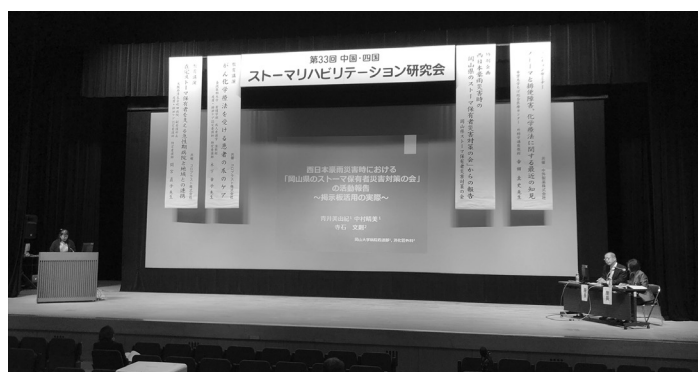
## 4. 今後の展望

今後の課題として、

1. 岡山県内の自治体への広報活動
2. 関連学会や研究会での活動内容の報告
3. ICTを用いたより効率的なネットワークづくりを挙げ、活動のさらなる拡充を図りたい。本会活動を通して、ストーマ保有者のみならず岡山県民にプロジェクトの趣旨を広め、ストーマ保有者への支援ネットワークが拡充することを期待したい。

## 謝辞

本活動の運営にご尽力いただきました岡山県ストーマリハビリテーション研究会の関係者の皆様、杉浦地域医療振興財団の皆さまに深謝申し上げます。



中四国ストーマリハビリテーション研究会